

平成24年度 一般会計予算。 各特別会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計及び特別会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月6日から8日までの3日間、特別会計は3月9日に審査が行われました。

定例会最終日には、川里春治一般会計予算特別委員長と山岸真知子特別会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計と下水道事業特別会計は全会一致で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、及び介護保険事業特別会計は賛成多数で可決されました。

(3面に)議案に対する各会派の賛否」を掲載

提案説明の概要と、一般会計予算特別委員会における各会派の総括質疑の要旨は以下のとおりです。

【一般会計】
予算総額は5百62億8千4百万円で、前年度予算に比べ4・3%、25億5千6百万円の減となっております。

新みちづくり・まちづくりパートナーシップ事業がなくなったことが主な減の理由です。

【後期高齢者医療特別会計】
予算総額は32億9千9百万円で、前年度予算に比べ11・2%の増となっております。

【国民健康保険事業特別会計】
予算総額は百74億6千4百万円で、前年度予算に比べ4・8%、7億9千7百万円の増となっております。

【介護保険事業特別会計】
第5期事業計画初年度の予算総額は百2億4千8百万円で、前年度予算に比べ12・9%、11億6千9百万円の増となっております。

【下水道事業特別会計】
小平市下水道プランの重点施策である合流式下水道改善対策等を中心に事業を実施します。予算総額は43億9千8百万円で、前年度予算に比べ2・4%、1億8百万円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】公共下水道施設を管理するための下水道維持費、雨水管及び汚水管の整備のための公共下水道建設費等を計上しています。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

平成24年度予算総額

(単位：千円、%)

	24年度 予算額	23年度 予算額	伸び率	
一般会計	56,284,000	58,840,000	△4.3	
特別会計	国民健康 保険事業	17,464,000	16,667,000	4.8
	後期高齢 者医療	3,299,000	2,966,100	11.2
	介護保 険事業	10,248,000	9,079,000	12.9
	水道 事業	4,398,000	4,506,000	△2.4
	合計	91,693,000	92,058,100	△0.4

【後期高齢者医療特別会計】
予算総額は32億9千9百万円で、前年度予算に比べ11・2%の増となっております。

【国民健康保険事業特別会計】
予算総額は百74億6千4百万円で、前年度予算に比べ4・8%、7億9千7百万円の増となっております。

【介護保険事業特別会計】
第5期事業計画初年度の予算総額は百2億4千8百万円で、前年度予算に比べ12・9%、11億6千9百万円の増となっております。

【下水道事業特別会計】
小平市下水道プランの重点施策である合流式下水道改善対策等を中心に事業を実施します。予算総額は43億9千8百万円で、前年度予算に比べ2・4%、1億8百万円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳出】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

【歳入】大口事業者の排水量の減により、下水道使用料は3千8百54万円の減となり、一般会計繰入金も1億円の減となっております。

一般会計予算に対する 各会派の総括質疑(抜粋)

質問 ①特命的副市長の任命に示された、小川駅西口再開発事業と小平駅北口整備に臨む意気込みは。

②市税増収のための具体的取り組みは。

③教育委員会は市長部局から独立しているとはいえず市長には総合調整権がある。教育委員会制度の特徴や市長部局の権限等を踏まえた上で、意思疎通を図りながら教育施策を実施していくものと考えている。

質問 ①今までの想定をもとにした防災対策を抜本的に見直すべきでは。

②保育園の待機児解消に向けて積極的な取り組みが必要と考えるが、具体策はあるのか。

③学校現場での防災教育の実践が求められていると考えるが見解は。

④抜本的な見直しではなく、東日本大震災の経験の中で新たに発見したこと等の上乗せしていきたい。

⑤重要な課題と受け止めており、認可保育園の開設や定員の弾力化、認定家庭福祉員の拡充等の対策を講じたい。

⑥防災教育の見直しが必要と認識している。現在、防災教育にかかわる年間指導計画を見直しており、まずはみずからの命を守るという指導を全校で実践していきたい。

質問 ①新たに就任する副市長の機動力を生かすための具体的な筋道は。

②子育て支援策を充実すべきと考えるが、待機児童に対する今後の方策は。

③障害児、障害傾向児の割合は10%を占めると言われているが、どのような対策を行っていくのか。

④交渉力も飛躍的に高まるので、特に小川駅や

質問 ①市民の生活を建て直すためには安定した雇用の確保や社会保障の充実が必要と考えるが、新年度予算での対策は。

②自治基本条例の真髄とも言える市民参加を積極的に進めるべきではないか。

③少人数学級の実施を進めるべきと考えるが今後の展望は。

④国や都の制度を活用した

質問 ①副市長2人体制の中で、参加と協働のプロセスをどう考えていくのか。

②これからの行政運営では縦割りを超えた発想が求められるが、今後の庁内連携と政策共有についての見解は。

③今後のインクルージョン教育の展望は。

④トップの責任体制が強化

質問 ①平成24年度予算の特徴と今後の財政状況についての見解は。

②エネルギーシフトに向けて市は太陽光発電日本一を目指しているが具体的な目標は。

③これから導入される予定の子ども・子育て新システムについての市長の考えは。

④市制施行50周年記念事業や防災対策、今まで計画的に進め

質問 ①徘徊高齢者を探すなど、防災行政無線は災害時以外でも活用すべきと考えるがどうか。

②自転車の左側通行を徹底させていくための具体策は。

③足がL字型の学校の机は地震のときに倒れて危険なので、早急に入れかえるべきでは。

④災害時以外で頻繁に使うと逆にマンネリ化してしまうとい

和会

政和会

市議会公明党

フォーラム小平

日本共産党小平市議団

生活者ネットワーク

虹とひかり

みんなの党小平の会